

売上高1000億円 最高見通し

川島グループ 25年3月期

非鉄総合商社、川嶋（本社）浜松市、川嶋一義代表）を中心とする川島グループは、2025年3月期の連結業績（速報ベース）で売上高が過去最高の1000億円となる見込みであることを明らかにした。経常利益は前年並みの約51億円を予

測する。これにより15年に策定した10力年計画の目標をクリア。今後は組織力を高め、国内外でサステナブルな事業体制の確立を推進する考えだ。

同グループの連結決算は、グループ各社の決算時期に差異があるため売上高、経常利益

共に概算での計上になる。同社では15年に25年3月期を最終年度とする10力年長期経営計画を定め、売上高で1000億円、経常利益で50億円を目標に各種取り組みを推進してきた。金属事業ではアルミスクラップのアップゲ

その結果、売上高は前期の940億円から1000億円超へと増加し、経常利益は前年並みの水準を保った。26年3月期は米国トランプ政権による関税政策に伴う世界経済の不透明さを受け、売上高、経常ともに今期並を予測している。

今後については2年後をめどに、川嶋本社を浜松市内に新規建設し、移転する。また、レアメタル事業で新たな海外拠点の設立を検討していくほか、アルミ合金事業ではベトナムでの事業拡大なども計画。シニアカー事業でも東南アジアでのマーケットリサーチを進めるなど、金属・非金属事業ともに国内外で事業を積極推進する考え。

同グループはアルミ精錬や貴金属スクラップのリサイクル・リユースなど非鉄金属関連分野で、幅広く事業を展開する総合非鉄リサイクル企業グループ。近年では不動産、レジャー、介護など金属以外にも幅広い分野で事業を展開している。